

研究課題名	細菌性肺炎・結核罹患患者の肺・気道形態解析
本研究の目的	<p>Primary (主要目的) : TB および細菌性肺炎症例における CT-assessed dyanapsis (気道-肺サイズ比) の分布を記述し、対照群と比較する。</p> <p>Secondary (副次目的) : dyanapsis 指標と (1) 画像病変量、(2) 重症度/遷延 (入院期間、酸素投与、治療期間等) の関連を探索する。</p> <p>Exploratory (探索的目的) : 追跡可能な症例では、治療後 (安定期) 呼吸機能との関連を探索する (症例数不足の場合は記述に留める)。</p>
研究期間	倫理委員会承認後～2027年3月31日
調査データ該当期間	2020年1月～2026年3月
研究の方法	<p>●対象 国立病院機構大牟田病院でCT、呼吸機能検査、血液検査を施行された患者</p> <p>●用いる試料・情報 電子カルテより下記情報を用いる。 年齢。性別などの基礎データ、血液検査データ、呼吸機能検査、6分間歩行試験をはじめとする運動耐容能、CT データ (VINCENT (FUJIFILM) 等を用いて解析を行う)</p>
お問い合わせ先	電 話 : 0944-58-1122 (代表) 研究責任者 : 井上 滋智 (呼吸器内科)